ＤＪ－Ｐ４５　セットモードの拡張について

ＤＪ－Ｐ４５　特定小電力トランシーバーには、普段の使用にあまり必要が無くても環境や特定のニーズによってカスタマイズできると便利な項目を拡張セットモードに持たせております。意味を分かって設定しないと電池が早く消耗したり、「故障かな？」と思うような動作をしたりする可能性がありますので、下記のキー操作にて拡張をおこなったあとに設定画面があらわれるようになっており、あえて取扱説明書には記載しておりません。

拡張メニューは、設定変更後に表示を隠すことと、完全初期化（登録済みメモリー内容は消去され、すべての設定済み内容を工場出荷状態に戻す完全リセット）が可能です。

［セットモード拡張方法］

１：キーロックをかける（２タイプどちらでも可）
２：【同時】キーを５回連続で押す
　　４秒以内に押さないと有効になりません。キー操作が有効であれば「ピピッ」と鳴ります。
３：セットモードに入ると、通常セットモードのあとに拡張メニューが追加されています。
＊　設定変更して拡張メニューを隠すには、上記１～３の操作を繰り返します。
＊　登録済みメモリー内容の消去やすべての設定済み内容を工場出荷状態にするには、一度電源を切り、【同時】【▲】【▼】３つのキーを同時に押しながら電源を入れます。

［拡張後に設定変更できるセットモード項目］

１：スケルチレベル「ＳｑＬ」
設定値　０～５（初期値３）

ＦＭ電波特有の通話がないときに聞こえる「ザー」というノイズを消す「スケルチレベル」の調整です。工場出荷状態では標準的なレベルに調整されています。レベルを上げると、通話していない時でもスケルチが開きバサバサという音が出ることなく静かな待ち受けが可能になりますが、弱い電波ではスケルチが開きにくくなるため、通話距離が短くなるように感じられることがあります。逆にレベルを下げると弱い電波でも開きやすくなりますが、バサバサという音が出やすくなります。レベルを０にすると、交互通話モードでは、常に「ザー」という音が鳴ります。同時通話モードでは「受」は点灯しますが、音は鳴りません。

２：キーロック時間「ＬｏＣ」
設定値　１～３秒（初期値２秒）

キーロックに要する時間です。通常では指定のキーを２秒押すとキーロックになりますが、このタイミングを１～３秒の間で変更することができます。

３：バッテリーセーブ「ｂＳ」
設定値　ＯＮ／ＯＦＦ（初期値ＯＮ）

電池の消耗を防ぐ機能です。バッテリーセーブ動作時に信号を受信すると、通話の始めが途切れる場合があ

ります。少しでも軽減するためにバッテリーセーブをＯＦＦにすることができますが、電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。

４：電池電圧表示「＊．＊＊」
設定変更できる項目ではありません。

お使いの電池の電圧を表示しますので、電池の残量チェックとしてお使いになれます。テスターのような精度ではありませんで、あくまで目安とお考えください。

５：マイクゲイン調整「mG」
設定値　１～８（初期値４）

使用するアクセサリーや人によってマイクに入る音声は異なります。このため、音が小さい（ゲインが低い）、音が歪む（ゲインが高い）などの場合にマイクゲインを調整することができます。

６：EMGキー割り当て変更「ｂＵｔ」
設定　EMG／MONＩ／MEMORＹ（初期値EMG）

本体上部の【EMG】（緊急通報　赤色）キーを押したときの動作を変更することができます。
「EmG」　　緊急通報機能：アラーム音が鳴らせます。

「ｍｏｎｉ」　モニター機能：信号が途切れて聞こえるときに押すと、スケルチを一時的に開放して聞きやすくさせる機能です。

「ｍEｍｏｒＹ」メモリー呼び出し：メモリーチャンネルの呼び出しができます。

アルインコ(株)　電子事業部

ＤＪ－Ｐ４５のメモリーモードとデュアルオペレーション

●メモリーモード：チャンネルや設定を予めメモリー登録することで、状態を変えて運用したいときに面倒な設定を省略でき、素早く通話できます。メモリーできるチャンネルは１２個あります。

□メモリー登録の方法：

①登録したい状態（チャンネル、グループトークの有無など）に設定する。

②【FUNC】キーを押す。

→M とメモリー番号が点滅します。

③▲/▼キーで登録したいメモリー番号(0～9,A,b)を選択する。

④【同時】キーを約 2 秒押す。

→「writE」と表示され、メモリー登録されます。

□メモリー呼び出し：

①【同時】キーを押しながら電源を入れる

→M とメモリー番号が点灯し、メモリーモードになります。

②▲/▼キーで使用するメモリー番号を選択する

通常の通信モードへ戻すには、再度【同時】キーを押しながら電源を入れます。

メモ ・ 登録されたメモリー内容を消去するには完全リセットをおこなってください。
・ メモリー内容を変更したいときは不要なチャンネルの上に新しい設定を上書きしてください。
・ 拡張セットモードで緊急ボタンをメモリー呼び出し用ボタンに割り当てられます。

●デュアルオペレーションモード

メイン/サブの 2 つのチャンネルを１秒ごとに交互受信し､そのどちらとも通信することができるモードです。あらかじめ上記の要領でメモリー番号 A、メモリー番号 b に登録しておく必要があります。

①メモリー登録する

上記の設定方法を参照して、メイン側に設定する内容をメモリー番号 A に、サブに設定する内容をメモリー番号 b に登録します。

②デュアルオペレーションモードにする

【▲】キーを押しながら電源を入れます。

→「dUAL」と表示され、メイン側を「A」、サブ側を「b」として交互自動受信がスタートします。

信号を受信すると交互受信が停止し通話することができます。

③送信する

メイン側で送信したい時は通常通り【PTT】キーを押し、サブ側で送信する時には PTT】キーを一度短く押したあと、もう一度【PTT】キーを押して送信します。

→送信が終わって約 5 秒経過すると改めて交互受信を再開します。

④デュアルオペレーションモードを終了する

電源を入れなおします。

メモ：電源を入れなおしてもデュアルオペレーションモードのままにしておきたい時はキーロックをかけておきます。